

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	実用英語検定対策講座 2 (Preparation Course for the EIKEN Test in Practical English Proficiency 2)					担当教員	太田 恵子 (オオタ ケイコ)
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性
		対策講座	選択	0 単位	1～4 年次	後期	資格対応科目／知識定着・確認 型 A L
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性
		対策講座	選択	0 単位	1～4 年次	後期	資格対応科目／知識定着・確認 型 A L

① 授業のねらい・概要
実用英語検定準 1 級・1 級に対応し、読み、書き、聴き、話す 4 技能の活用を通じて、国際交流や外資系企業での業務に対応できる英語コミュニケーションを学ぶ。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
③ 授業の進め方・指示事項
◆テキストの設問に沿って、イディオム、リスニングコンプリヘンション、読解、作文、スピーチ、英語の基礎的知識の確認作業と解説を行う。必要に応じて、補足説明を行う。 ◆英検の過去問を模試として解くことで、準 1 級・1 級の受験対策を実践的に行う。 ◆授業前にその回で扱う教材の Vocabulary を辞書で確認し、自習用 CD を聞いてくること。 ◆必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
実用英語検定対策講座 1
⑤ テキスト (教科書) ※授業で使用する。
Nishihara, Toshiaki ほか (最新版), <i>Cultural Encounters</i> , (センゲージラーニング)
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
『2020 年度版 英検 1 級過去 6 回全問題集 C D』、旺文社
⑦ 当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
シラバスを事前に確認した上、リスニング教材の添付 C D を活用し、予習、復習を充分行うこと。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 基礎的な英語を理解し、運用できる。イディオム、リスニングコンプリヘンション、読解、作文、スピーチなど、英語の基礎的知識を理解し、運用できる。 (ii) 英語対話力の基礎を身につけている。 (iii) 異文化へ興味をもち、理解を深めることができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 基礎的な英語を理解と運用	英語の理解と運用が自力ででき、授業内容を越えた学修成果を示している。	英語の理解と運用が自力ででき、授業内容をよく理解している。	英語の理解がある程度自力ででき、教員等の支援を受ければ運用もできる。	英語の理解が十分とは言えないが、教員等の支援を受ければ理解できる。	英語の理解が、授業を受けてもできない。
(ii) 英語対話力の習得	テキストを理解するのに必要な英語技能を習得しており、テキスト内容を越えた学修成果を示している。	テキストを理解するのに必要な英語対話力を習得している。	テキストを理解するのに必要な英語対話力を教員等の支援を受ければ習得できる。	テキストを理解するのに必要な英語対話力は不十分であるが、対話は理解できる。	テキストを理解するのに必要な実英語対話は、授業を受けても理解できない。
(iii) 異文化への理解	異文化への理解が自力ででき、授業内容を越えた学修成果を示している。	異文化への理解が自力でできる。	異文化への理解が教員等の支援を受ければできる。	異文化への理解が十分とは言えないが、教員等の支援を受ければわかる。	異文化への理解は、教員等の支援を受けてもできない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 （レポート含む）	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%		10%		10%		100%
（i）基礎的な英語の理解	80%						80%
（ii）英語対話力の基礎			10%				10%
（iii）異文化への理解					10%		10%
フィードバックの方法	課題は、添削して返却し解説するとともに、授業への参加・意欲は、Activity への積極的取組、参加を評価する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	Introduction, Practice Exam 1)	英語資格を理解する。配布プリントを復習する。	180 分
2	Pre-Wedding Parties (1) 助動詞	テキスト pp. 48 - pp. 50、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
3	Pre-Wedding Parties (2) 前置詞	テキスト pp. 51 - pp. 53、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
4	Driving in the United States 1 (2) 接続詞	テキスト pp. 54 - pp. 56、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
5	Driving in the United States 1 (2) 接続詞	テキスト pp. 57 - pp. 59、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
6	Driving in the United States 2 (1) Practice Exam 3	テキスト pp. 60 - pp. 62、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
7	Driving in the United States 2 (2) 分詞構文	Driving in the United States 2 (2) 分詞構文	180 分
8	Pastime (1) Practice Exam 4	テキスト pp. 66 - pp. 68、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
9	Pastime (2) 仮定法	テキスト pp. 69 - pp. 71、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
10	Relaxing Time (1) Practice Exam 5	テキスト pp. 72 - pp. 74、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
11	Relaxing Time (2) 構文	テキスト pp. 75 - pp. 77、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
12	Words of Encouragement (1) Practice Exam 6	テキスト pp. 78 - pp. 80、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
13	Words of Encouragement (2) 熟語	テキスト pp. 81 - pp. 83、配布プリント、CD の予習・復習	180 分
14	Comprehension Exam 1 慣用句	テキスト、配布プリント、CD の復習	180 分
15	Comprehension Exam 2 Course Wrap Up	CD の復習	180 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 A L を採用する。設問、コミュニケーションは、学生が順次対応し、教師が解説・評価する。数回の提出課題に関して、返却時に評価、考察を行い、学習内容をフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性